



2021年3月卒業生に対する就職後1年以内の退職者数に関する調査報告書

2022年4月26日

日本看護系大学協議会

看護学教育質向上委員会

看護学教育質向上委員会

委員長	吉沢豊子	(東北大学大学院)	
委員	石橋みゆき	(千葉大学大学院)	鎌倉やよい (日本赤十字豊田看護大学)
	善生まり子	(埼玉県立大学)	縄秀志 (聖路加国際大学)
	細田泰子	(大阪公立大学)	前田修子 (金沢医科大学)
	森山美知子	(広島大学大学院)	(50音順)

1. はじめに

2020年から始まった COVID-19 の感染拡大によって、看護学生は臨地実習が困難となり、コミュニケーション技術を始めとする看護技術の習得に多大な影響を受けた。JANPU はその実態を調査すると共に、卒業後の研修の充実を厚生労働省へ要望してきた。さらなる対策への資料とすることを目的に、JANPU から会員校に対し 2021 年 3 月卒業生を対象とした、就職後 1 年以内の退職者数等（2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）の実態調査依頼を実施した。

2. 調査概要

JANPU 会員校 290 校に対し、エクセルシートを用いた Web 調査を行い、卒業生数、職種別・施設種類別就職者数、退職者数、休職者数、退職理由の回答を求めた。大学で把握していない場合には、学生が就職した病院、施設等に問い合わせることを依頼した。

卒業生を輩出した会員校は 264 校、回答数は 142 校、回答率は 53.8%であった。

3. 調査結果

回答のあった 142 校の卒業生数は 11,581 名であり、職種別就職者数は表 1 に示すとおりであった。卒業生数のうち進学等その他、不明を除き、看護師・保健師・助産師・養護教諭として就職した者は 10,821 名であった。

この 10,821 名を対象として、職種別・施設種類別に退職者数、休職者数を表 2 に示した。ただし、退職者数・休職者数は、できる範囲での調査結果であるとの回答が含まれた。

退職理由について、看護師に関する結果を表 3 に示した。67 校から回答があり、109 名に関する理由が記された。1 名について複数の理由が記された場合、人数と対応することなく退職理由が列記された場合には重複回答とし、延べ件数で示し、総件数は 125 件であった。

(1) 看護師

就職した 9,852 名のうち 1 年以内に 2.8% (271 名) が退職し、0.5% (48 名) が休職した。病院への就職者では、9,733 名のうち退職者が 2.8% (268 名)、休職者は 0.5% (47 名) であった。

退職理由は、業務への不適応 26 件、進路変更 26 件、人間関係 19 件、体調不良 15 件、メンタル不調 11 件、リアリティショック 8 件、看護職への不適応 7 件、コロナの影響 5 件、ワークライフバランスの不均衡 4 件、個人的事情 4 件であった。コロナの影響では、2 件が COVID-19 感染拡大で新人研修が受けられなかった理由、1 件はコロナ病棟に配属されて適応できなかったとの理由、2 名がコロナの影響を回答した。

(2) 保健師

就職した 561 名のうち、1 年以内に 1.2% (7 名) が退職し、0.5% (3 名) が休職した。保健所／市町村への就職者 524 名のうち退職者は 1.3% (7 名)、休職者は 0.4% (2 名) であった。企業等への就職者に退職者・休職者はいなかった。

退職理由について 4 校から回答があり、体調不良 2 件、人間関係の問題 1 件、コロナ禍で新人教育がなされずメンタルの不調 1 件であった。

(3) 助産師

就職した 307 名のうち、1 年以内に 2.9% (9 名) が退職し、1.0% (3 名) が休職した。病院への就職者は 298 名であり、3.0% (9 名) が退職し、1.0% (3 名) が休職した。

退職理由について 4 校から回答があり、職場不適応 2 件、メンタル不調 1 件、大学院進学 1 件であった。

表1 卒業生数と職種別就職者数

就職職種	就職者数	%
看護師	9,852	85.1
保健師	561	4.8
助産師	307	2.7
養護教諭	101	0.9
その他	657	5.7
不明	103	0.9
卒業生総数	11,581	100

表2 就職1年以内の退職者・休職者数

		就職者数	在職者数	%	退職者数	%	休職者数	%
看護師	総数	9,852	9,533	96.8	271	2.8	48	0.5
	①病院	9,733	9,418	96.8	268	2.8	47	0.5
	②施設	13	11	84.6	1	7.7	1	7.7
	③その他	33	31	93.9	2	6.1	0	0
	不明	73						
保健師	総数	561	551	98.2	7	1.2	3	0.5
	①保健所/市町村	524	515	98.3	7	1.3	2	0.4
	②企業等	26	26	100	0	0	0	0
	③その他	11	10	90.9	0	0	1	9.1
助産師	総数	307	295	96.1	9	2.9	3	1.0
	①病院	298	286	96.0	9	3.0	3	1.0
	②診療所/クリニック	4	4	100	0	0	0	0
	③助産所	0	0	0	0	0	0	0
	④その他	1	1	100	0	0	0	0
不明	4							
養護教諭	総数	101	101	100	0	0	0	0
合計		10,821	10,480	96.8	287	2.7	54	0.5

注1) 在職者数は「就職者数 - (退職者数 + 休職者数)」として示した。

(4) 養護教諭

退職者・休職者はなかった。

4. 考察

本調査は、2021年3月卒業生が対象であり、大学在学時2020年1月から2021年3月までの15か月間COVID-19による影響を受けた卒業生である。4年次の臨地実習の多くが制限され、中止となる中で、大学の看護教員と実習施設の指導者が、教育の質を保証するために連携し、実習時期の再調整、実習期間の短縮、Webの利用、学内実習の工夫などが実施された。さらに、この卒業生はCOVID-19の感染拡大の最中に病院に就職した新卒看護師である。

1) 会員校の2021年3月卒業生の就職1年以内の離職率は低い

日本看護協会の「2020年病院看護実態調査」では、3,570病院から回答があり、2019年度の新卒採用者数36,924人のうち、2019年4月1日から2020年3月31日までに退職した新卒採用者は3,173人(離職率8.6%)であった¹⁾。経年変化を見ると、2011年、2014年、2017年とも7.5%、2018年度7.8%と推移し、2019年度に8.6%に上昇したことが報告された²⁾。

本調査は2021年4月1日から2022年3月31日の退職者数を対象とし、全体では離職率2.7%、休職率0.5%であり、病院看護師に限定しても離職率2.8%、休職率0.5%であった。回収率53.8%、できる範囲の結果との回答が含まれる限界はあるものの、看護協会の全国調査と比較して、大学を卒業した新卒看護師の離職率は低いと考えられた。

また、2022年3月卒業生は、2020年1月から2022年3月までの27か月間COVID-19による影響を受けてきた。今後も、継続した調査が望まれる。

2) COVID-19の影響を退職理由とした件数は少ない

退職理由から、COVID-19の影響は5件であり、そのうち2件は新人研修を受けられず、1件

表3 看護師の退職理由

カテゴリ	個別の退職理由	件数
業務不適合	急性期病棟に不適合、 配属先と本人の適性とのミスマッチ 夜勤への不適合 多重課題への不適合	26
進路変更	保健師・養護教諭への転職 他の専門分野の病院へ転職	26
人間関係	職場・先輩看護師・指導者との人間関係が困難 職場でのハラスメント被害	19
体調不良	身体症状が出る	15
メンタル不調	生死に直面してメンタル不調となる 過酷な臨床現場に精神的疲労の蓄積	11
リアリティショック	理想と現実のギャップ、臨床現場の過酷さ 職場が求める能力と自分の能力のギャップによる困難感 責任の重さのしんどさ、命にかかわる仕事に恐怖	8
看護職不適合	技術力に自信が持てず看護職には向かないと自己判断 看護職に向いていないと自己判断	7
コロナの影響	新人研修が受けられない 友人と会えない、相談できない コロナ病棟に配属され、適応できなくなった コロナに罹患して出遅れた	5
ワークライフバランス	残業が当たり前の風土への批判 自己のライフスタイルを維持できない	4
個人的事情	個人の事情	4
計		125

はコロナ病棟に配属されて適応できなかつたと回答した。今回の調査からは、COVID-19の影響を退職理由とした卒業生は少ないと考えられた。

3) 大学として就職1年目の退職者への支援が必要

全国病院調査と比較すると低いものの、2.7%の退職者がいることは事実である。退職理由からは、業務不適合、人間関係、リアリティショック、看護職不適合などが原因となつて、体調不良、メンタル不調を来し、進路変更や退職に帰結すると考えられた。業務不適合、リアリティショック、看護職不適合などに対し、会員校大学としてキャリア支援等を提供することを検討することが望まれる。

5. 謝辞

会員校大学には年度末の時期に調査にご協力を賜り感謝申し上げます。また、その調査に当たり、会員校卒業生が就職した病院等にもご協力を賜り感謝申し上げます。

文献

- 1) 日本看護協会 (2021) News Release 「2020年病院看護実態調査」結果.
https://www.nurse.or.jp/up_pdf/20210326145700_f.pdf (2022年4月8日閲覧)
- 2) 日本看護協会 (2021) 2020年病院看護実態調査報告書. 日本看護協会調査研究報告, No.96,
<https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/research/96.pdf> (2022年4月8日閲覧)